



金属スリットカップリング ヘリカル

8652 / 1441 / 3□□2M / 3□□5M / ARM / ACRM / DSR / DSCR

取扱説明書

☆本取扱説明書はご購入後の標準仕様製品の「取り付け」「取り外し」とそれに関連する「注意事項」を主に記載していますので、製品の仕様・性能などは事前にホームページや最新の製品カタログでご確認願います。

☆製品を正しくご使用いただくために必ずお読みいただき、保管願います。

☆ご注文の製品か、製品に破損がないかをご確認ください。

目次

- | | |
|----------|---------|
| 1. 構造と名称 | 3. 取り付け |
| 2. 注意事項 | 4. 取り外し |

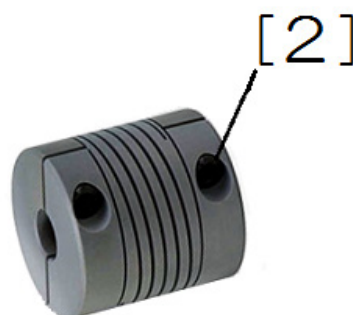
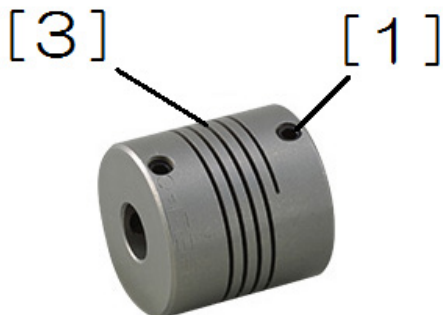
1. 構造と名称

注記 軸との締結は、止めねじ方式とクランプ方式があります。

モデル	止めねじ方式	クランプ方式
8652	○	
1441	○	
3□□2M	○	
3□□5M		○
ARM	○	
ACRM		○
DSR	○	
DSCR		○

■止めねじ方式

■クランプ方式





[1]六角穴付き止めねじ [2]クランプボルト [3]スリット

2. 注意事項




2.1 安全上の注意事項

使用者への危害や損害を未然に防ぐため、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分し、警告図記号で取り扱いの行為について具体的に表示しておりますので必ずお守りください。




【安全注意事項のランク】

 危険	使用者が取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い場合を示します。
 注意	使用者が取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される場合を示します。




【警告図記号の説明】

 禁止	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示します。
 注意	製品の取り扱いにおいて、注意を喚起することを示します。
 指示	製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制することを示します。





危険

	製品の取り付けや保守・点検をするときは装置の電源を絶対に入れないでください。 作業中に誤って電源が入ると急に駆動部が回転するので、接触や巻き込まれると大きな事故の原因となります。		緊急時に急停止させる機構を設置してください。 回転中に製品が破損した場合に、急停止させないと製品が飛散もしくは落下して大きな事故の原因となります。
	必ず保護カバーを設置してください。 回転中に製品や機械の回転部に触れると、手や指、髪の毛や衣服などが巻き込まれ、大きな事故の原因となります。		

注意

	弊社指定の止めねじまたはクランプボルトを使用して、校正したトルクレンチを正しく取り扱い、指定の締め付けトルクで固定してください。 止めねじまたはクランプボルトが正しく締め付けられていない場合は、ゆるみが発生し脱落すると動力伝達が停止します。また回転中に飛び出すと、けがや事故の原因となります。		製品を取り扱うときは安全めがねや手袋などの保護具を着用してください。 製品のスリットなど鋭利な部分でけがをする恐れがあります。
	重い製品を無理に持たないでください。悪い姿勢で作業しないでください。 重量がある製品の運搬やトルクレンチを扱うときなど力を入れて作業する場合、または製品を機械に組み込むときの無理な姿勢は、身体に負担がかかる恐れがあります。		

2.2 製品仕様の注意事項


	悪影響をおよぼす環境では使用できません。		廃棄は依頼するか法規にもとづいて処分してください。
	使用雰囲気温度は-40~+120℃です。少量でも水や油や薬品がかかる、腐食性が強い、極度な高温低温、ほこりがかかる、結露する、風雨にさらされる、大きな振動・衝撃がかかる場所などは、製品の損傷や性能劣化の原因となります。		製品の廃棄は専門業者に依頼するか、もしくはお客様が自分で廃棄される場合は法律や地域の条例に従い廃棄してください。また幼児が遊ぶ場所や公共の場所に捨てたり放置しないでください。
	本製品は完成品です。製品の分解・改造・追加工などは絶対にしないでください。穴径の追加工も禁止です。		偏心・偏角・軸方向の許容誤差は必ず守ってください。(許容誤差一覧表をご覧ください)
	お客様が独断で製品の分解・改造・追加工などを行った場合、さらにそれが要因で製品の損傷や性能劣化またはけがや事故が生じた場合、弊社は品質保証および損害補償をいたしません。		精度が悪いと製品が破損する恐れがあります。

モデル	許容誤差		
	偏心 [mm]	偏角 [°]	軸方向 [mm]
8652	0.05	1	±0.05
1441	0.25	5	±0.12
3□□2M/3□□5M	0.25	5	±0.25
ARM/ACRM	0.25	5	±0.25
DSR/DSCR	0.15	3	±0.15

注記

回転速度が2000min⁻¹を超える場合は、許容誤差が50%以下になります。

2.3 取り付け前の注意事項

	軸に固定する前は止めねじまたはクランプボルトを締め込まないでください。		取り付け軸の公差は、h7級に仕上げてください。
	止めねじまたはクランプボルトは仮止めで出荷しますので、軸を挿入前に締め込むと軸が挿入できなくなる恐れがあります。		特にクランプ方式では穴径の摩耗が発生しやすくなり、性能に影響が出ます。
	弊社付属以外の止めねじまたはクランプボルトは使用できません。		軸との締結は、止めねじ方式とクランプ方式があります。
	強度や長さなどが異なると適正な締め付けができませんので、ゆるみが発生します。		同じ呼び径の止めねじとボルトでも締め付けトルクが異なります。
	止めねじまたはクランプボルトには接着剤などのゆるみ止めや油などを塗布または付着させないでください。		軸およびハブ内径面のさび・ほこり・油分などを除去してください。また製品の表面に付着している防せい油・ごみなども、布などでふきとってください。
	潤滑成分により過大な軸力が発生するので、カップリングの破損原因となります。		
	止めねじまたはクランプボルトの呼び径が小さいので、六角穴がつぶれないように締め付けてください。		軸保持力が低下するなど性能が発揮されません。特に摩擦係数に著しく影響を及ぼすモリブデン系、シリコン系、フッ素系の減摩剤などを含んだオイルやグリース類は絶対に付着させないでください。
	つぶれてしまうと取り外しができません。		

3. 取り付け

(1)

軸およびカップリングの内径面のさび、ほこり、油分などを除去してください。特に摩擦係数に著しく影響を及ぼすモリブデン系、シリコン系、フッ素系の減摩剤などを含んだオイルやグリース類は絶対に付着させないでください。

(2)

止めねじまたはクランプボルトがゆるんでいることを確認してから軸にカップリングを挿入してください。このとき本製品に圧縮・引っ張りなどの無理な力が加わらないように挿入してください。

(3)

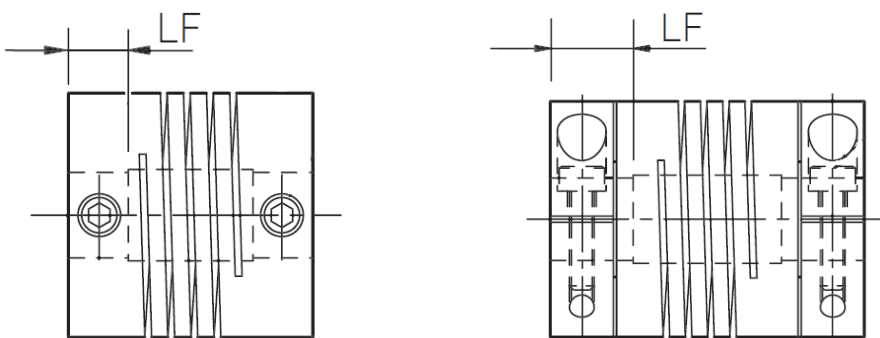
止めねじまたはクランプボルトをゆるめた状態で、カップリングが軸方向、回転方向に軽く動くことを確認してください。この方法は左右の同心度の簡易的な確認方法として推奨しておりますので、スムーズに動かない場合は、2軸の心出しを再度調整してください。

(4)

軸のカップリングへの挿入長さは、カップリングのLF寸法にわたって軸と接し、なおかつスリット部分と干渉しないように軸を挿入して取り付けてください。

【軸挿入量】

モデル/サイズ	LF [mm]	モデル/サイズ	LF [mm]	モデル/サイズ	LF [mm]
8652	2	ARM-050	3.2	DSR-075	4.6
1441	5	ARM-075	4.6	DSR-100	6.6
3042M	3.2	ARM-100	6.6	DSR-112	7
3082M	4.6	ARM-112	7	DSR-150	10
3002M	7.9	ACRM-050	4.9	DSR-200	13.6
3012M	11.4	ACRM-075	6.5	DSCR-075	6.4
3045M	4.9	ACRM-100	7.9	DSCR-100	7.9
3085M	6.5	ACRM-112	11.4	DSCR-112	11.4
3005M	7.9			DSCR-150	12
3015M	11.4			DSCR-200	13.6



注記

1441モデルの軸挿入長さは、一覧表では5mmと記載しておりますが、端面から5mm以上6mm以下としてください。

(5)

軸方向に圧縮・引っ張りなどの力が作用していないか確認した後、止めねじまたはクランプボルトを締め付けてください。
締め付けは校正されたトルクレンチを使用し、表の締め付けトルクで行ってください。

モデル/サイズ	止めねじ方式	クランプ方式	呼び径	締め付けトルク [N・m]
8652	○		M1.6	0.04
1441	○		M3	0.7
3042M	○		M1.6 ※穴径 Φ2	0.04
			M2	0.09
3082M	○		M2 ※穴径 Φ3	0.09
			M3	0.7
3002M	○		M5	3.6
3012M	○		M5	3.6
3045M		○	M1.6	0.25
3085M		○	M2.5	1.0
3005M		○	M3	1.5
3015M		○	M3	1.5
ARM-050	○		M1.6 ※穴径 Φ2	0.04
			M2	0.09
ARM-075	○		M2 ※穴径 Φ3	0.09
			M3	0.7
ARM-100	○		M5	3.6
ARM-112	○		M5	3.6
ACRM-050		○	M1.6	0.25
ACRM-075		○	M2.5	1.0
ACRM-100		○	M3	1.5
ACRM-112		○	M3	1.5
DSR-075	○		M3	0.7
DSR-100	○		M5	3.6
DSR-112	○		M5	3.6
DSR-150	○		M6	6.0
DSR-200	○		M6	6.0
DSCR-075		○	M2.5	1.0
DSCR-100		○	M3	1.5
DSCR-112		○	M3	1.5
DSCR-150		○	M5	7.0
DSCR-200		○	M6	11.7

4. 取り外し

(1)

必ず装置の主電源を「切」にし、カップリングにトルクや軸方向荷重などがかかっていないか、落下などの危険がないか安全確認を行ってから取りはずしをしてください。

(2)

止めねじまたはクランプボルトをゆるめることで、軸との締結が解除されます。

注記

止めねじまたはクランプボルトの呼び径が小さいので、ゆるめたときに落としたり、紛失させないようにしてください。

三木プーリ株式会社

<http://www.mikipulley.co.jp/>

取扱説明書のお問い合わせは、弊社ホームページ、下記のフリーアクセス、お近くの弊社支店・営業所へご連絡ください。
TEL 0800-800-1311 (フリーアクセス)

※取扱説明書は予告なく内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※製品の不具合につきましては、購入先もしくはお近くの弊社支店・営業所へご連絡ください。

※製品の仕様・性能につきましては、「製品カタログ」をご覧ください。